学級活動指導案

安芸高田市立郷野小学校
教諭 本田光洋

1 日 時 平成 22 年 12 月 14 日 (火) 第 6 校時

2 学 年 安芸高田市立郷野小学校 第 4 学年 男子 3 名 女子 9 名 計 12 名

3 議 題 「係さんありがとうの会」を開こう

4 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、4 年生に進級し、まず、はじめにどんな学級にしたいか意見を出し合い、学級目標を「にこにこパワフル学級」とした。この学級目標の「にこにこ」には、「みんなが仲良く・楽しく・明るく」、「パワフル」には「何事にも積極的に取り組む」という思いが込められている。その後、この学級目標達成のためにどんな係があったらいいか時間をかけて考えた。たくさんのアイディアの中から、カキペタ係、にこにこパワフルニュース係、みんな大好きお祭り係、ホメホメ係という四つの係が誕生した。児童は毎週火曜日と木曜日の放課後 15 分の係タイムを中心に活動し、季節の絵の掲示、七夕かざりづくり、ニュースの発表、本の読み語り、お誕生日会、いいこと表彰状づくりなどを行ってきた。活動時間を確保したことで、意欲的に活動し続ける児童も見られたが、時間が経過していくにつれ、意欲が持続しない児童も見られ始めた。2 学期になって「係の仕事を見直そう」と話し合い活動を行い、仕事や役割を見直す中で、いいことみつけ係、表彰いっぱい係、ハッピーワイワイ係、ピカピカピーチ係という新たな四つの係が誕生した。1 学期とはそれぞれメンバーや仕事内容が違っているので、初めは戸惑いも見られたが、メダカの世話・メダルわたし・お楽しみ集会・賞状づくりなどを 9 月においては意欲的に行ってきた。ところが、実践していくうちに一人一人の活動意欲の差が大きくなり、1 学期末と同様に、意欲が持続しない児童が目立つようになってきた。

そこで、本議題を取り上げ、話し合い活動を通して係活動の意義を見つめなおすとともに、活動過程の中に、自己評価、相互評価、教師による評価、ポートフォリオ評価を効果的に位置づけ、集団活動や自らの実践のよさを実感させ、効力感を感じさせる。さらに、それぞれの係に感謝の気持ちを伝える集会をすることで、3 学期も仲間と協力して係活動に取り組み、学級生活をより豊かにしていこうという活動意欲を高めていきたい。

5 活動のねらい

2 学期の係活動の様子について振り返り、話し合い活動を通して、それぞれの係に感謝の気持ちを伝える会を企画・運営・実践することで、望ましい人間関係を育み、係活動に対する活動意欲を高める。

6 評価について

観点	集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
評価 規 準	学級集団や自己の生活に関心をもち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に話し合い活動や集会活動に取り組もうとしている。	集団の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、係活動や集会活動の充実を考え、判断し、自己を生かして実践している。	係活動の意義、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、集会活動の仕方などについて理解している。

7 活動計画

(1) 事前の活動

活動過程	児童の活動（・）	指導上の留意点（○）及び評価の視点（☆）と【方法】
課題の発見	・係活動についてのアンケートに答える。	☆係活動の意義を理解し、学級生活の向上に向けて積極的に活動している。【教師による評価】 ○実態把握から、児童にとって切実感のもてる問題を設定し、呼びかける。
問題の設定	・協力して達成したり、解決したりする共同の問題を決めて、議題案を書く。	○係活動についての問題を把握し、それに対する自己評価を行わせ、議題案を考えさせる。 ☆係活動における自分の取組状況とその原因を考えている。【自己評価】
議題の決定	・集められた議題案から、目標を達成したり、問題を解決したりするために、話し合うべき議題を決める。（計画委員会）	○議題案から議題を選定するときの視点を示しながら、計画委員とともに選定に当たる（学級がもっとよくなる・話し合う必要がある・自分たちで解決できる）。 ○選定した議題は、選定理由と話し合いの日時と合わせて教室掲示し、全員に知らせる。
計画の作成	・話し合いの柱や順番など、話し合い活動の計画を作成する。（計画委員会）	○児童の活動計画をもとに指導計画を作成する。 ○学級会提案シートに合わせて、話し合い活動の計画を書かせる。 ○司会、記録、提案などの役割分担をする。
議題の意識化	・計画委員会から示された議題について考えたり、調査したりして、自分の考えをまとめ、解決への見通しをもつ。	○示された議題について、自分の考えをまとめさせ、解決への見通しをもたせる。 ☆示された議題について、何が問題で、どうしたら解決できるのか自分の考えを書いている。【自己評価】

(2) 本時のねらいと活動

ア 本時のねらい

「係さんありがとうの会」についての話し合い活動を通して、目的を達成するためにその内容や役割を決定し、生活をよりよくする集会活動への意欲を高める。

イ 本時の活動

活動過程	児童の活動（・）	指導上の留意点（○）及び評価の視点（☆）と【方法】
提案理由の整理	1 始めの言葉 ・始めの言葉を担当者が言う。 2 役割の紹介 ・司会、記録、提案者は自己紹介をする。	○役割を紹介することで、話し合い活動に対する意識を高め、役割に対する責任感をもたせる。

解	3 議題の確認 ・司会が議題を読み上げて確認する。	○議題選定の過程も振り返り、学級全員で解決していく議題であることを確認する。
	4 提案理由の説明 ・提案者が提案理由を説明する。	○提案終了後に質問の時間をとり、理由がしっかり共通認識されるようにする。
意見の交換	5 話し合い ①「係さんありがとうの会」の内容について ・自分の意見を分かりやすく発表する。 ・友達と自分の意見を比べ、相違点について考える。 ②「係さんありがとうの会」の実施に関わる役割について ・自分の意見を分かりやすく発表する。 ・友達と自分の意見を比べ、相違点について考える。	○全員の意見が書かれた一覧表を掲示し、それをもとに意見を出し合えるようにする。 ○出し合い・聴き合いの段階では、特に聴くことを徹底し、話し合いカードにメモを取らせる。 ○しぼりこみの段階では、しぼりこむ視点を提示し、知らせる。 <視点>～みんなもよくて自分もいい方法はないか～ ・異なる意見の中間をとる。 ・互いのいいところを生かして新しいものをつくる。 ・条件つきで賛成する。 ☆話し合い活動の仕方を理解し、積極的に話し合い活動に取り組もうとしている。【教師による評価】
	6 ①についての集団決定 ・意見をまとめ、折り合いを付けて、決定する。 7 ②についての集団決定 ・意見をまとめ、折り合いを付けて、決定する。 8 役割分担 ・役割を自己決定する。 9 先生の話 ・先生の話聞く。 10 決まったことの確認と話し合い活動の振り返り ・話し合いカードに自己評価を書き、これまでの評価資料などとともにポートフォリオを作成する。 11 終わりの言葉	○話し合いカードに自分の最終的な意見と、そう考えた理由を書かせる。 ☆自分の考えが話し合い活動を通して、どのように変わったのか書くことができている。【自己評価・相互評価】 ○話し合い活動の成果を協力の成果として評価する。 ☆集会実施に向けての話し合い活動を積極的に行うことができている。【教師による評価】 ○「これから」という観点を決めて、振り返らせることで事後の活動につなげさせる。 ☆「話す」・「聴く」・「これから」の観点で、話し合い活動の自己評価をするとともに、これまでの評価資料などをポートフォリオ化し、自分の成長過程を実感している。【自己評価】【ポートフォリオ評価】 ☆授業終了後に、ポートフォリオを集め、自己評価を補う形で評価する。【教師による評価】

(3) 事後の活動

活動過程	児童の活動（・）	指導上の留意点（○）及び評価の視点（☆）と【方法】
準備をする	<p>・集団決定したことをもとに、自分の役割を果たすとともに、全員で協力して、「係さんありがとうの会」の準備をする。</p>	<p>○帰りの会の「今日の気付き」の時間を使って相互評価を促す。 ☆話合いの結果に基づいて決まった自分の役割を果たそうとしている。【相互評価】 ☆よい実践だけでなくよさを見付けられたことも評価する。【教師による評価】</p>
実施する	<p>・「係さんありがとうの会」を話し合いで決定した通りに実施、運営する。</p>	<p>○集会活動における、成功の原因を個人の努力だけでなく、協力の成果として評価する。 ☆会のねらいが達成できるように協力して実践し、よい集会活動にしている。【教師による評価】</p>
振り返る	<p>・活動の成果について振り返る。</p>	<p>☆これまでの相互評価の資料や事後の活動の成果物をポートフォリオし、活動全体を通して、終わりの振り返りカードで自己評価する。【ポートフォリオ評価】 ○個人のポートフォリオを交換し、評価し合うことで、自分では気付けなかったよさに気付かせる。 ☆友達のよさに気付いている。【相互評価】 ☆児童のポートフォリオを基に、個人や集団の変容、指導計画、指導方法を評価規準に照らして評価し、改善を図る。【教師による評価】</p>